



がんばれ! 子育て日記



おじいちゃん・おばあちゃんに
かんしゃ
“感謝”の気持ちを伝えましょう



共働きのご家庭では、おじいちゃん・おばあちゃんに子どもを預けることも多いと思います。でも、「甘やかしすぎて、子どもがすっかりわがままになっている…」とお悩みの方も多いようです。



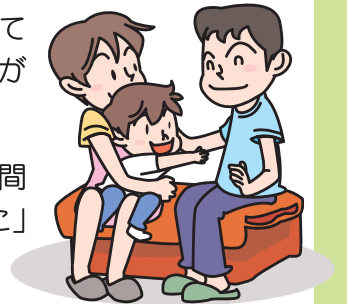
「あまりおやつを与えないで」「おこづかいを持たせないで」と頼んではいても、子どもたちはお菓子食べ放題、もらったおこづかいでおもちゃや漫画を買う…など、わがまま放題。こんな事ならいっそのこと、「自分が仕事をやめて家庭でしっかり“しつけ”をし直そうか」と真剣に考えるお母さんもいらっしゃるようです。

お父さんが祖父母に可愛がられるのはとても良いことですが、上のような教育上“悪影響”をもたらす可愛がられ方もちょっと困りものです…。しかし、子どもにとって“わがままを言える環境”はとても大事なことなのです。なぜなら、わがママが“夢”や“向上心”を育てたりするからです。

ただし、大切なことは、“聞いてあげられるわがママ”と“聞いてあげられないわがママ”の制限をきちんと設けておくことです。

子どもはもともと、祖父母よりも“両親とのつながり”の方を求めているものですから、日頃から両親との間にしっかり“つながり”があることが確信できていれば、親の想いはお子さんたちに伝わると思います。

たとえ、共働きで子どもたちと過ごす時間が短くても、家族で語り合う時間を作ることはできるはずですから、常に家庭で「規則正しい生活をするように」「無駄遣いはしないように」といったことを言葉でちゃんと伝えていきましょう。



また、お父さん・お母さんが子どもの頃に持っていた夢を話したり、子どもが良いことをした時にはきちんと「このことは良かったよ～」と誉めてあげましょう。反面、間違っただけをした時は「ここがいけない」ときちんと話します。こういったコミュニケーションによって、「自分は親から信頼されている」「期待されている」と子どもは実感できるようになるものです。

ですので、お母さんが「私が仕事をやめて、義父母から子どもを取り返す…」といったことを考えているようなら、もう一度考え直してみましょ。むしろ、お子さんの“心の安定”のためにも、義父母とは出来るだけ良好な関係を続けることの方が大切です。

ぜひ、おじいちゃん・おばあちゃんには、日頃から子どもを預かってもらっていることの“感謝”を伝えて下さい。その中で、「自分は子どもたちにこう育ててほしい」といったことをおじいちゃん・おばあちゃんに率直に話してみたいはいかがでしょうか。